



## ECI方式(技術協力・施工タイプ)による 工事を契約しました

鉄道・運輸機構(JR TT)では、ECI方式(技術協力・施工タイプ)により契約手続きを進めていた『北海道新幹線、札幌車両基地高架橋Ⅰ』工事の工事契約を行いました。

令和3年10月より運用を開始したECI方式<sup>※1</sup>により契約手続きを進めてまいりました『北海道新幹線、札幌車両基地高架橋』工事<sup>※2</sup>について、令和5年6月2日に、当該工事に係る技術協力業務の受注者である、鹿島・飛島・岩田地崎・中山 特定建設共同企業体と『北海道新幹線、札幌車両基地高架橋Ⅰ<sup>※3</sup>』工事の契約を行いました。

ECI方式を採用することで、設計段階から施工者の意見を取り入れ、民間事業者の高度な知見を活用することにより、手戻りを防止し、工事を円滑に施工することが期待されます。

また、公共工事の品質確保の促進に関する法律第18条第3項に基づく公表資料として、当該工事に係る契約者の選定経緯を当機構HPに公表しました<sup>※4</sup>。

※1 令和3年10月1日プレスリリース「[「新たな入札制度」を導入します～設計段階から施工者の意見を取り入れる制度を創設しました～](#)」にて公表

※2 令和3年12月24日プレスリリース「[ECI方式\(技術協力・施工タイプ\)による工事発注について](#)」にて公表

※3 関係者協議及び詳細設計の進捗を踏まえ、工事をその1工事及びその2工事の2つに分割し、各々の工事について価格等の交渉を行うこととしています。

※4 [「北海道新幹線、札幌車両基地高架橋Ⅰ」工事に係る契約者の選定経緯について](#)

<添付資料>

別紙1: ECI方式(技術協力・施工タイプ)について

別紙2: 『北海道新幹線、札幌車両基地高架橋Ⅰ』の概要

<本件に関するお問合せ先>

北海道新幹線建設局 総務部 広報・渉外課

TEL : 011-231-3456

Mail : hokkaido-koho@jr tt.go.jp

## 【課題】

- 新幹線の建設工事では土木、建築、設備など複数分野の工事が輻輳し、工事着手後に設計の見直しが必要になることも多く、工事契約の変更が生じて手戻りとなることがあった。

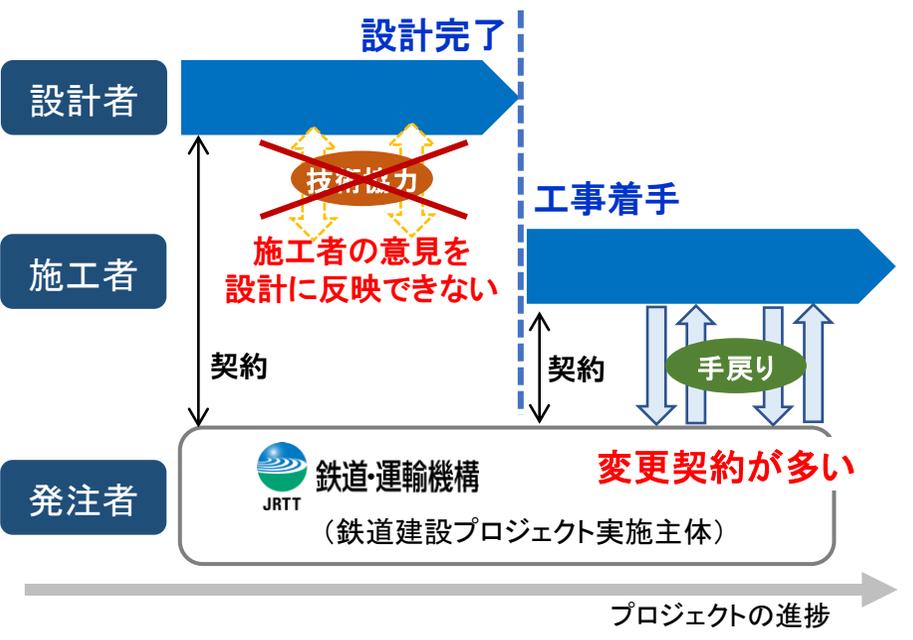
## 【新たな取組】

- 今後は設計段階から施工者の意見を取り入れ、民間事業者の高度な知見を活用することにより、手戻りを防止し、円滑に施工する入札契約制度\*を導入。

※品確法第18条に規定される技術提案の審査及び価格等の交渉による方式の技術協力・施工タイプ（ECI方式）をいう

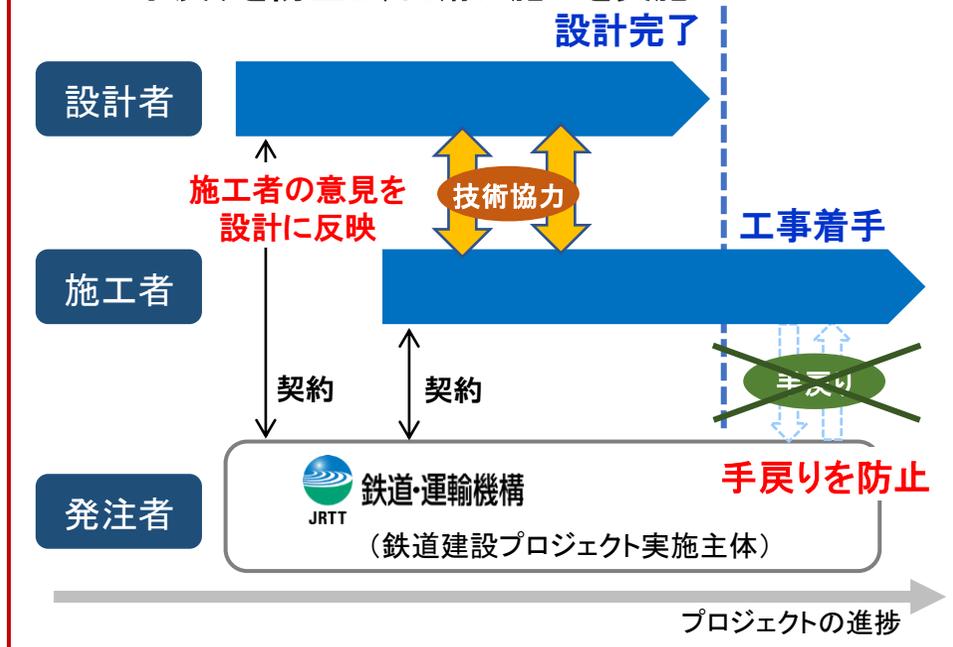
## これまで

- 工事着手後に契約変更が多く発生
- その度に手戻りが発生



## 今後

- 設計段階から施工者の意見を取り入れ
- 手戻りを防止し、円滑に施工を実施

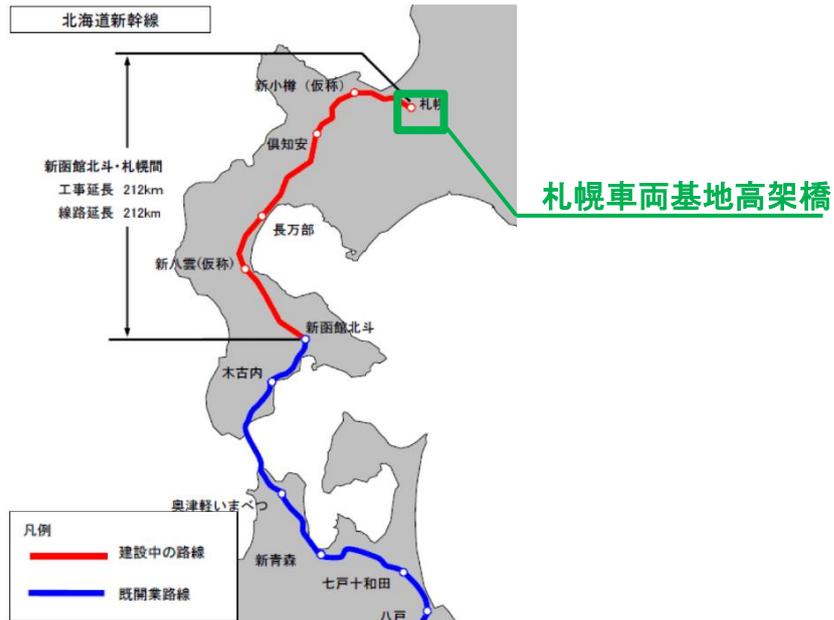


『北海道新幹線、札幌車両基地高架橋 I』の概要

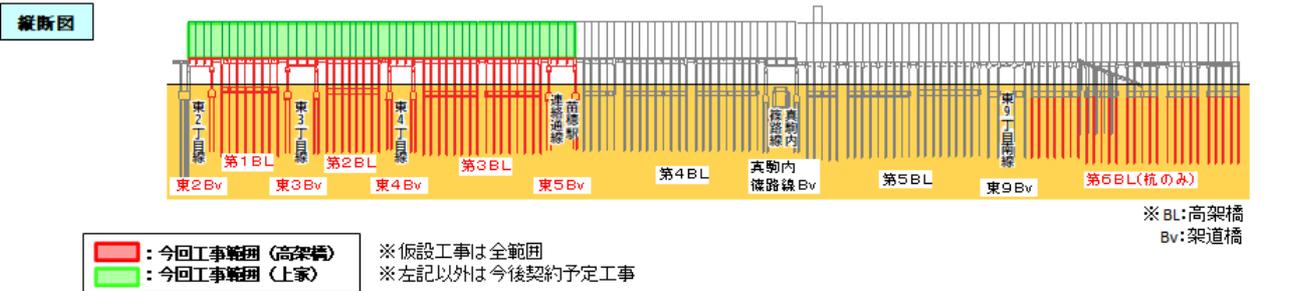
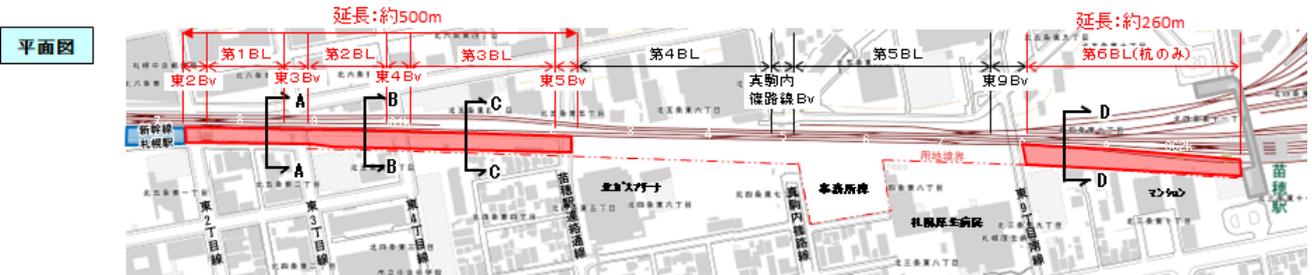
【工事概要】

北海道新幹線の車両基地高架橋及び上家工事(延長約1.3km)のうち、札幌駅側(約500m)の高架橋および上家新設工事、苗穂駅側(約260m)の高架橋杭工事、全範囲(約1.3km)の仮設工事(工事用道路、仮囲い等)を行うもの。

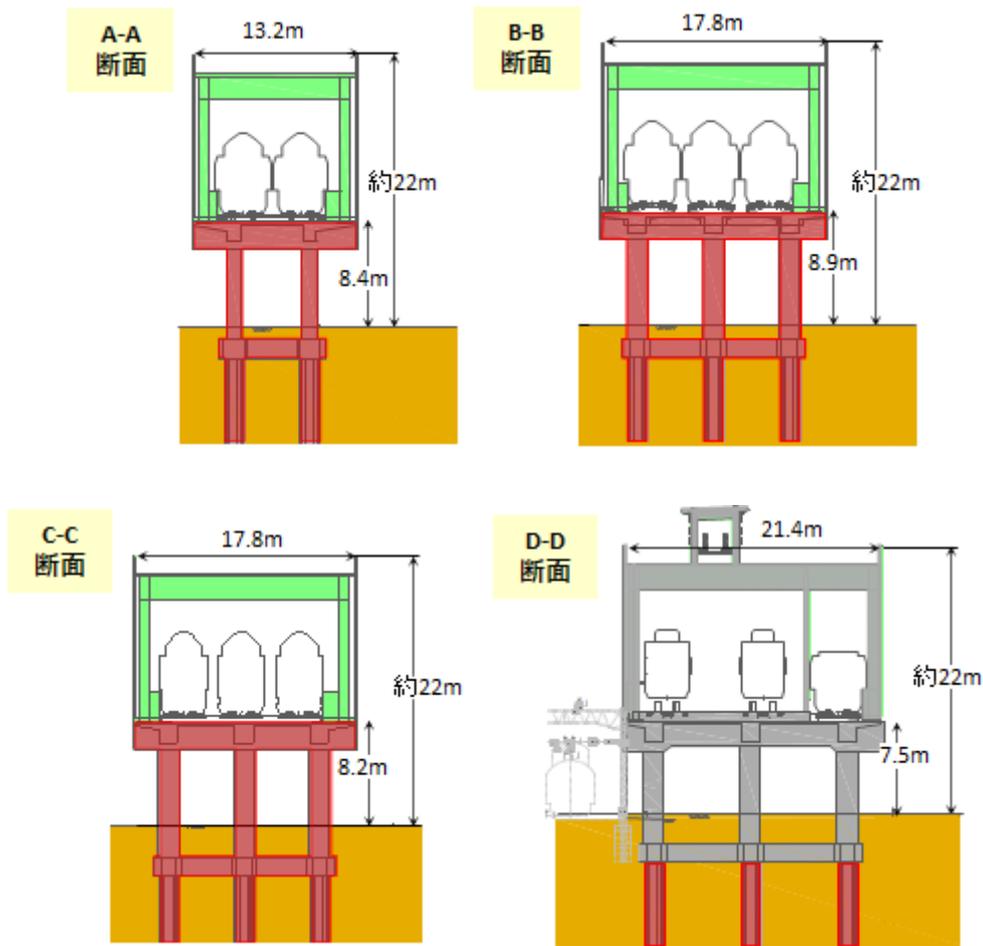
【位置図】



【平面図・縦断面図】



【横断図】（前頁平面図にて、位置を示しております）



【工事概要】

工事名	北海道新幹線、札幌車両基地高架橋 1 【今回契約工事】	北海道新幹線、札幌車両基地高架橋 2 【今後契約予定工事】
工事場所	北海道札幌市中央区北5条東地内～北3条東地内	
しゅん功期限	令和 10 年3月までを予定	
内容	高架橋・橋りょう:延長 760m 建築上家・防雪上家:7,900 ㎡ 上記に伴う仮設工事等	高架橋・橋りょう:延長 850m 建築上家・防雪上家:16,700 ㎡

注)「北海道新幹線、札幌車両基地高架橋 2」については予定であり、今後変更する可能性があります。